

# 第6学年 国語科学習指導案略案

日時 2019年4月20日(土) 第5限

場所 5・6年教室

指導者

- 1 題材名 つないで、つないで、一つのお話（言葉の準備体操、言葉のバトンパス）
- 2 本時の目標 **話し手の一文の内容を捉えながら聞き、自分の言葉で続きのお話を作ることができる。**  
 ・何度でもやりたくなり、時には自分たちでルールや中身を工夫することもできるところに、遊びの魅力がある。そうした、遊びの魅力を取り入れて、さまざまな言語活動に生きて働く言葉の力を育てたい。  
**つながりを意識して話を聞いたり、次の人へ話したりする。条件に従って話す力、話の流れを落とさずに聞く力を付けていくことをねらっていきたい。**

### 3 指導過程

過程	時間	学 習 活 動	主な発問と予想される児童の反応	指導上の留意点
つかむ・見通す	3	誰とグループになるのか確認する。  本時のめあてを確認する。	<u>グループ</u> を確認した上で、めあてを提示し声に出す。  めあて 「グループで協力して、一つのお話を作ろう。」	席の真ん中で分けて、グループを2つ作ることを伝える。 「グループ」  めあてを繰り返し呼んで、しっかり確認する。
ひろげる	7	今日のめあてを確認する。	T「今日は、グループで一文ずつ、つないでお話を作る活動を行います。」  T「教科書P11を見て、お話作りの方法を確認します。」  <b>※前の人の内容に合うよう、1人一文でお話を作り、つないでいく。2周する間に一つのお話を作る。</b>  ※発表は前に出て、発表する順番で並ぶ。 ※発表を聞いたら、感想を伝え合う。聞く人は、話の良かった所、面白かった所など探しながら聞く。 T「何か質問はありますか？」	①最初と最後の一文を、決める。 ②最初と最後の一文を言う役を、それぞれ決める。話をつなぐ順番を決める。 ③一人目から順番に、一文ずつお話をつないでいく。 ④最後の人は、最後の一文を言って終わる。  <b>※安易に笑いを誘うものや、人を傷つけるようなものは、やめましょう。</b>  話し方名人、聞き方名人を確認する。

	<p>10</p> <p>グループになって、一つのお話を作る。</p>	<p>T「話がうまくつながっていくポイントは何か？気をつけるといいことは何か？」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前の人の話を受けてつなぐ。</li> <li>・前の人の話をしっかり聞く。</li> </ul> <p>T「話す順番を変えて、もう一度やってみましょう。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あまり考えすぎずに、思い浮かんだことを一文で言う。</li> <li>・前の人の話をよく聞いて、楽しくお話を続ける。</li> <li>・後に文が続けやすいものを考えるようにする。</li> <li>・詰まってしまった場合は、パスできる。隣の人が助けることができる。</li> </ul>
	<p>20</p> <p>慣れてきたら、様々なパターンで取り組む。</p>	<p>T「もっと難しいパターンでやってみましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●3周、4周とつなぐ。</li> <li>●犬を登場させる。会話文を入れる。などの条件指定を入れる。</li> <li>●グループごとに最初と最後の1文を作る。(ホワイトボードに最初と、最後の文を書く。)</li> <li>●クラス全員で一つのお話をつなぐ。</li> </ul> <p>※こうしたバリエーションによって、楽しみながら活動を続ける。</p>	<p>話をつなげていくことに慣れてきたところで、パターンを変える。</p>
<p>ま と め る</p>	<p>5</p> <p>ふりかえりをする。</p>	<p>今日のめあてを確認⇒ふりかえり「今日の活動をやってみて、感じたこと、考えたこと、発見したことはありますか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話をよく聞くことが大切。</li> <li>・みんなで協力してできた。</li> </ul> <p>「みんなで考えを出し合うと、自分にはないアイデアを聞けたり、いろいろな発見があったり楽しいですね。これからの国語の授業でも、友だちの話をしっかり聞いて、自分の考えを楽しく伝え合っていきましょう。」</p>	<p>ふりかえりを発表して、交流する。</p> <p>話がうまくつながっていったポイントは何か考えさせる。</p> <p>どんなところをどんなふうに。一つのお話を作るために、どんなことに気がつけたかを伝えあう。</p> <p>ふりかえり⇒これからの学習へ活かしていく。</p>

#### 4 板書計画

つながりで、つながりで、一つのお話

めあて グループで協力して、一つのお話を作ろう。

やり方

- ・最初と最後の一文を決める。
- ・前の人の内容に合うよう、一文で話をつなげる。
- ・二周する間に一つの話を作る。

ポイント

- ・友だちの話をしっかり聞く。
- ・短く話してつなげる。
- ・最後の一文に内容を近づけていく。

ふりかえり

1：最初と最後の一文を、教師が指定する。2周する。（2班とも同じ題で。）

2：最初と最後の一文を、教師が指定する。（2班とも同じ題で。話す順番を変える。）

- ・最初と最後の一文を、子どもたちが書いたものから引く。（それぞれ違う題で。話す順番を変える。）
- ・最初と最後の一文を、子どもたちが書いたものから引く。（それぞれ違う題で。話す順番を変える。）
- ・最初と最後の一文を、子どもたちが書いたものから引く。（それぞれ違う題で。話す順番を変える。）  
犬を登場させる。会話文を入れる。などの条件指定を入れる。

・最初と最後の一文を、子どもたちが書いたものから引く。（それぞれ違う題で。話す順番を変える。）  
3週する。

・最初と最後の一文を、子どもたちが書いたものから引く。クラス全員で一つのお話をつなぐ。（2周する。）

1：最初「ある小学校に、名前の分からない木がありました。」

最後「だからこうして、木が立っているのです。」

2：最初「今日は、土曜参観です。」

最後「緊張したけど、大成功しました。」

今日は、土曜参観です。  
きんちょうしたけど、大成功しました。

ある小学校に、名前の分からない木がありました。  
だからこうして、木が立っているのです。

今日は修学旅行です。  
だから、とても楽しく過ごすことができました。

今日は、運動会です。  
でも、最後までがんばることができました。

そして、みんな幸せになりました。

でも、みんな元気になりました。

だから、みんな笑顔になりました。